



国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



■創立■ 1964年3月2日 ■例会日■ 毎・金曜日12時30分 ■例会場■ オークラ千葉ホテル
 ■会長■ 廻 辰一郎 ■幹事■ 河原 大輔 ■会報委員長■ 石井 慎一
 ■事務局■ 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2020-21年度

第2722回

2020年10月9日(金) 点鐘12時30分(曇り)

《ガバナー公式訪問》

- ◆ロータリーソング『われらの生業』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

- ◇国際ロータリー第2790地区
ガバナー 漆原 摂子様
- ◇ " 第4グループガバナー補佐 外立 徹様
- ◇ " ガバナーエレクト 梶原 等様
- ◇ " 幹事長 吉田 理愛様
- ◇ " 幹事 水嶋 陽子様

◆会長挨拶及び報告 廻 辰一郎会長

皆様、こんにちは。後ほどのガバナーの卓話、よろしくお願い致します。先週のCSRゴルフ会、お疲れ様でございました。優勝を狙っていたのですが、ひざを壊してしまって参加できず残念に思っております。

例会終了後にクラブ協議会がございますのでよろしくお願い致します。

◆入会式

宇井 敏之会員(千葉信用金庫本店長)

(紹介者:伊藤和夫会員、塩谷邦昭会員、水野浩利会員)



皆様、こんにちは。この度は歴史ある千葉南ロータリークラブの会員になることが出来て、大変光栄に思いま

す。一日も早く皆様の顔を覚えて親しくなれるよう頑張っていきたいと思っております。我々は転勤するまでという期間限定になりますが、ロータリアンとして頑張りたいと思っております。よろしくお願い致します。

◆委員会報告

特にございません。

◆幹事報告 河原 大輔幹事

特にございません。

◆出席報告(会員数51名)

出席者数	欠席者数	ビジター	修正出席率
32名	19名	5名	9/25 休会のため次回

◆千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい。](#)

千葉RC	月		三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	10/13	センシティブタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火		アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	10/7	京成ホテルミラマール
千葉北RC	水		ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	10/1・10/15	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木		京成ホテルミラマール

◆ニコニコボックス報告

《廻 辰一郎会長・河原 大輔幹事》

10月も半ばを迎え、気候も味覚も申し分ない季節となりましたが、残念ながら今日は台風の影響で雨となりました。

さて、本日はガバナー公式訪問です。漆原ガバナー、梶原ガバナーエレクト、吉田地区幹事長、水嶋地区幹事の皆様、そして3週連続でのご来会の外立ガバナー補佐、ようこそお越しくださいました。

今日は、地区とクラブについて話し合いたいと思っております。宜しくお願い致します。

《今井 太志会員》

10月7日(水)CSRゴルフ会に多くのご参加を賜り、御礼申し上げます。そして実行委員の戸井田泰明会員、副実行委員の齋藤良亮会員には、素晴らしい設営を本当に有難うございました。

個人的には、栄えある「ブービー賞」を畑江大介会員と

のデッドヒートの末に勝ち取る事が出来ました。

《加藤 隆章会員》

伊藤さんからいただいたお米を炊いて美味しく食べさせていただきました。社宅での単身生活なのでおかずは、つくだ煮の昆布のみ。職業分類の一番最初に農業があることを思い出しながらいただきました。

《斎藤 昌雄会員》

10月6日、長女の真莉子が無事女の子を出産しました。初めての孫となります。

《鈴木 美津江会員》

千葉県初の女性ガバナーとして、漆原様にお越しいただいております。本日は宜しくお願ひ致します。

《植松 省自会員》

漆原ガバナー、本日は有難うございました。ガバナーが勝浦RCの会長の時、タケノコ例会に招かれ、皆様に熱烈歓迎を受けたことを思い出しました。酔いつぶされた千葉南クラブの酒豪が何人もいました。その節は有難うございました。

本日のニコニコボックス	11,000 円	累計	139,000 円
金の箱	590 円		13,167 円

本日の卓話

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 漆原 摂子様



皆様こんにちは、本年度ガバナーを仰せつかっております、勝浦RC所属の漆原摂子です。今般はこのコロナ禍の中、ガバナー公式訪問例会を開催していただき、また多くの会員の皆様にお集りいただき、心より御礼を申し上げます。調整にあたっていただきました外立ガバナー補佐にも感謝申し上げます。

さて、直近開催の RI 理事会においていくつか強調事項が発表となりましたが、特に、RI理事会とR財団管理委員会は、従来の 6 つの重点分野に加え、7 つ目の重点分野「環境の保全」を追加しました。この新しい重点分野は、グローバル補助金によって実施される奉仕プロジ

ェクトの新たな対象となり、あるいはこの分野を専攻し海外の大学院で学ぶ学生への奨学金支給対象となります。この申請は来年度からスタートとなりますが、詳細が分かり次第、またご案内致します。

また皆様ご周知の通り、つい先日 WHO はナイジェリアの野生株ポリオフリー宣言を致しました。そしてこの活動に大きく貢献したとして、アメリカ「TIME」誌は、毎年選考する「世界で最も影響力のある 100 人」のひとりに、ナイジェリアのバスター・アブバカー氏であり国際ポリオプラス委員会のメンバーである、ツンジ・フンジョ氏を選びました。ポリオ根絶の取り組みによりこの栄誉を受けたロータリー会員は、フンジョ氏が初めてとなります。

改めてご紹介致します、今年度の RI 会長であるホルガー・クナーク氏、ドイツからは初めての RI 会長です。大変長身で、鼻メガネがユニークです。新年度を迎えるにあたり、最新のビデオメッセージが届いておりますので、こちらをご覧ください。



さて冒頭、クナーク会長は、「日本のロータリアンは職業奉仕と親睦を大事にしている」とコメントされました。なるほど日本の事情によく精通されていると思います。過去からの礎は職業奉仕、即ち自身の仕事や活動を通して社会に貢献すること、これは今も昔も変わらない、ひとつの定義だと思います。そしてロータリーのビジネス倫理や親睦や社会奉仕に対する価値観を共有できるような、若い会員を引き入れ、活動することは、未来への基盤となると仰っていると理解します。

コロナ禍の中ではあり、困難を伴うが、これは同時に機会の扉を開くもの、今こそ R 再生のとき、変革のときであると仰っています。コロナと共生し「新しい日常(ニューノーマル)」に適應することで、今後また起こりうる厄災に対する備え、未来への備えに繋がるということです。

またクナーク会長は、特にガバナーのクラブ公式訪問の際に次の4つを伝えるようにと強調されました。これは今年 1 月にアメリカのカリフォルニア州サンディエゴで開催された、ガバナーエレクトとして最後の公式研修である「国際協議会」に出席した際に、発表されたものです。その時はコロナがこのようなパンデミックになるとは誰も思いませんでしたので、内容に少し隔たりを感じるかもしれませんが、RI 会長の指示でございますので、お話をさせていただきます。

1. 新しい革新的なクラブモデルを作りましょう。

ロータリークラブというのは、決して敷居の高い、お金持ちだけが集まるようなクラブではないと信じています。特にここ数年はローターアクトクラブの拡充が言われています。ロータリーの正会員に入るのは年齢的にも仕事の上でも会費納入の面でもまだ余裕のない 30 代、ある

いは 40 代前半をターゲットとしたローターアクトクラブの設立は、地域の活性化に繋がるかもしれません。このような若い人たちの活動は地域社会において、周囲により大きなインパクトを与え、賛同して参加したいと思う人が増える、すなわち参加者の基盤が広がるのではないのでしょうか。この2つは、RIの4つの行動計画に含まれております。

2. すべてのクラブは戦略計画を持ちましょう。

これもここ数年言われ続けていることです。現在コロナ禍のために、退会を余儀なくされる会員も微増しております。有効なワクチンが出来るまでは、コロナと共生をせざるを得ません。そのような中だからこそ、各クラブは自分のクラブの現状を見つめ、5年後はどうなっているか、クラブの目標を立て、それに向けてどのようなステップを踏むべきか、といった中長期的なスパンでクラブの存続そして活性化を考えるべきです。会員一人一人がクラブの将来を真剣に考える、すなわち参加者のクラブへの積極的なかかわりを促すという、RIの4つの行動計画の一つですが、これに繋がるのです。

3. 新会員を慎重に選びましょう。

クナーク会長は当初より、会員増強の数字だけにこだわるのではなく、自分のクラブに合った会員を慎重に考え入会してもらい、そして入会したら一生涯ロータリーをやめないで続けていけるような配慮が大切だと仰っていました。即ち、既存の会員を大切にすることです。ロータリーは毎年、入会した人数とほぼ同数が、自然減も含め、退会している状況です。しかも現在はコロナ禍のため、会員のクラブ離れは平時より微増と思われます。今一度クラブ内を見渡していただき、コロナ禍により事業継続が厳しく、退会を検討している会員には、規定審議会を経て柔軟性が導入された標準ロータリー定款への適応力を高め(これもRIの4つの行動計画のひとつです)、会員身分や出席に関する例外を細則に適用し、クラブに留まっていただくことも一考です。まずは今の大切な仲間を失うことのないようお願いする次第です。

4. 10月の世界ポリオデーに合わせたイベントを。

冒頭申しました通り、ナイジェリアは、野生株ポリオフリーとなり、現在ポリオ常在国はパキスタンとアフガニスタンの2国ですが、コロナ禍のためにワクチン接種が従来通りに実施出来ず、発症者も微増しています。一方、ロータリーが今までポリオ根絶のために築いてきた大規模なインフラを、現在は各国の医療機関に、コロナ感染拡大の防止に利用してもらっています。つまりポリオ根絶のためのノウハウが、現在最もパンデミックで脅威となっているコロナ禍を食い止めるべく、役立っているのです。RIの4つの行動計画の、適応力を高めて対応した結果、周囲により大きなインパクトを与えている状況です。世界ポリオデーは毎年10月24日ですが、昨年は136カ国で4,000を超えるクラブが5,900件以上のイベントを実施しました。今年はコロナ禍のため実施は困難かもしれませんが、バーチャルな方法や三密を避けた方法など、そのアイデアをいくつかご紹介いたします。

・ポリオ根絶特別例会：ポリオ根絶の動画を上映したり、

ポリオに詳しい人を卓話に招き、まずは会員の認知をはかる。

・バーチャル講演会／パネル討論会：感染症やワクチンの専門家、ポリオ経験者などを講演者やパネリストとして招き、一般の人でも視聴できる方法でオンライン配信する(Zoom、フェイスブックライブ、YouTube ライブなど)。

・赤いTシャツを着て応援：10月24日にEND POLIO NOWのTシャツや赤いTシャツを着た自撮り写真をソーシャルメディアに投稿し、ポリオ根絶への寄付を呼びかけるなどです。

東京三鷹 RC の事例をご紹介します。オンラインでチャリティコンサートを開催、YouTube で広く一般向けに配信し、演奏の合間にポリオ根絶へのご理解や寄付を促すといった計画です。また山梨県甲府市の甲斐ロータリークラブは、従前は街頭で募金活動を実施していましたが、今年はコロナ禍のため断念、代わりにこのようなエコバッグを作成し販売して、利益はポリオプラス基金へ寄贈するという活動をしていらっしゃいます。いずれにしても、10月のイベントについては、皆様の健康安全を第一に、ご無理のないようお願い致します。

それでは今年度地区活動方針についてご説明致します。YouTube での地区研修協議会でもお話致しましたが、今年は日本に最初のロータリークラブ、東京ロータリークラブが設立されてから100周年を迎えます。この節目の年に、原点であるロータリーの目的、すなわち「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むこと」に戻り、クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！というスローガンをうたいたいと思います。

奉仕の理念、The Ideal of Service、つまりサービスという考え方、そしてこれをやさしく説明したのが、RI事務総長を32年間務めたチェスリー・ペリーです。すなわち、「他人を思いやり、他人のためになることをしよう」という考え方です。そしてこれを実践するという事は、先程から話に出ております、RIの4つの行動計画のローテーションのスタートなのです。

他人のためになることをする、The Ideal Of Service の実践は、周囲により大きなインパクトを与えます。その活動を目にした人々のRへの公共イメージ向上の結果、賛同し仲間に入りたいと希望する参加者の基盤が広がります。多様な参加者のアイデアに丁寧に耳を傾け取り入れることで、その参加者はやりがいを感じ、ロータリアンとして、更に積極的にかかわってくれるでしょう。そしてクラブ内では親睦を育むと共に、研修を通してクラブの現状やロータリーの過去・現在を学び、将来に備えて、多様なアイデアをもって柔軟に対応出来るよう、適応力を高め、そして次の The Ideal of Service の実践に取り組むことでしょう。依然コロナ禍により通常のような行動がとりづらい状況ですが、このような時だからこそ、クラブが戦略計画をもって、この4つを繰り返し続けることで、数多くの機会の扉を次々と開いていくことが可能となり、結果クラブは質・規模ともに向上拡大するのだと考えます。

クラブの会長様には、リーダーシップを発揮していただき、戦略計画を立案し、この4つの行動計画を展開することをお願い申し上げます。またクラブの各委員長の皆

様は、この図の中で、それぞれの地点で、クラブ向上拡大のためのサポートが出来るかをお考えいただけますようお願い申し上げます。そしてクラブR財団委員会・米山記念奨学会委員会の委員長の皆様におかれましては、引き続き、The Ideal of Service を実施するための寄付推進、ならびに「世界でよいことをするための」人材育成にご尽力をいただければと思っております。

さてこれまで、ロータリーは今こそ改革の時であるというクナーク会長のメッセージや、適応力を高め柔軟に対応することや、多様性を受け入れましょうと申し上げて参りました。一方 RI は、ロータリーの基本理念は不変であると言い続けています。規定審議会でのいくつかの変更事項は、ロータリーの本質からの逸脱を認めるものではありません。つまり、ロータリアンは事業や専門職及び地域社会のリーダーであることに変わりはありません。ロータリーの基本的信条である「ロータリーの目的」に変更はありません。ロータリーの最も大きな特徴のひとつである「4つのテスト」及び5大奉仕部門に変更はありません。ロータリーの5つの中核的価値観、奉仕・親睦・高潔性・多様性・リーダーシップにも変更はありません。

また、国際ロータリーを成り立たせている各クラブは、標準ロータリークラブ定款に違背しない限り、そのクラブの伝統や個性や地域性を鑑み、クラブ独自の細則を作ることができます。会員があらゆる意味でロータリーを楽しみ、クラブがより生き生きとするために、戦略計画(中長期的計画)をもって、世界でただ 1 つのクラブ細則を作ることが大切だと考えます。

さて、私たちロータリアンが目指すビジョン声明があります。「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人びとが手をとりあって行動する世界を目指します。」これがロータリーのビジョン声明です。そして先程申しました、ロータリーが大切に守り続けている不変のものがあります。

それは4つのテストであり、ロータリーの目的であり、ロータリーの中核的価値観などです。これを基盤に、これも先程お話ししました4つの行動計画、より大きなインパクトをもたらす・参加者の基盤を広げる・参加者の積極的なかわりを促す・適応力を高める、この4つを実践することで、ロータリーのビジョン声明の実現につながるものと信じております。

ロータリーは人づくりとよく言われます。「他人を思いやり、他人のためになることをする」という考えの前に、まず、「自分を思いやり、自分のためになることをする」と置き換えてみましょう。そしてこれは決して利己的な考えではなく、まずは「自分を大切にし、自分が周囲に役立つ人間になる」と捉えてはどうでしょうか。即ち、会員個人が、その家庭や事業、活動で有用な存在となり、ロータリーの5大奉仕部門においては仲間と親睦を深めながらその実践に役立つような人間を目指すこと、ロータリークラブだからこそ、そのような人づくりが出来るのです。私自身としては、ロータリーって何？と問われたときに、「私自身です」と答えられるような、そんな人間を目指しています。自分を磨き、家庭や事業、地域や世界で、よいことをするための多くの扉を開いていただけますようお願い申し上げます。

ここで、来年6月に開催予定の台北国際大会のビデオをご覧ください。当地区参加目標は150名、現時点で登録済の会員数は32名です。また登録料は、今年12月15日までは365ドルですが、それ以降ですと440ドルに値上がりとなります。また6月13日の夜には、千葉ナイトと称して皆様と交流を図る晩餐会もご準備しております。万が一コロナ禍により中止の場合でも、登録料はきちんと戻って参りますのでご安心下さい。間もなくクラブオールでご案内を致しますので、移動も近い台北に是非一緒しましょう。ご清聴ありがとうございました。



第2723回例会

日時⇒ 2020年10月16日(金) 点鐘12:30

卓話⇒ 『今を生きる』

ことのは語り 木村 悠方子様

会報担当：小林 透

